

厚生労働省平成30年度概算要求関連資料

厚生労働省

厚生労働省における食育関連主要事業について

「第3次食育推進基本計画」

第3 食育の総合的な促進に関する事項

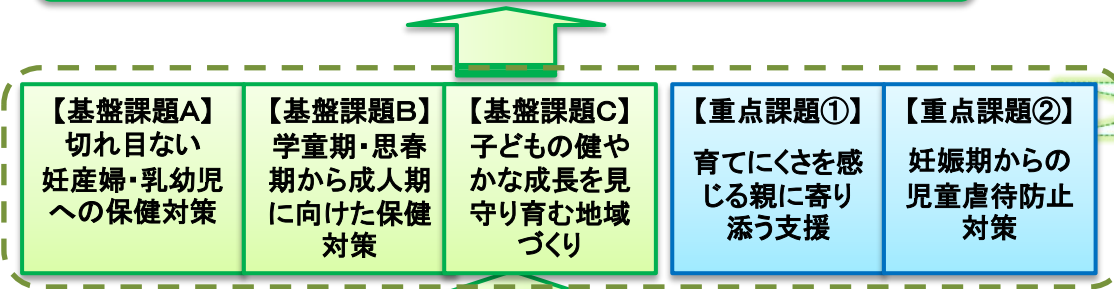
-
- 1. 家庭における食育の推進
 - 2. 学校、保育所等における食育の推進
 - 3. 地域における食育の推進
 - 4. 食育推進運動の展開
 - 5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等
 - 6. 食文化の継承のための活動への支援等
 - 7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進
- ・「健やか親子21」による母子保健活動の推進
 - ・国民健康づくり運動「健康日本21」の推進
 - ・8020運動・口腔保健推進事業
 - ・子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり）
 - ・食品に関する情報提供やリスクコミュニケーションの推進

「健やか親子21」による母子保健活動の推進

【平成30年度概算要求額 20百万円】
（平成29年度予算額 20百万円）

○21世紀の母子保健の取組の方向性を提示すると同時に、目標値を設定し、関係機関・団体が一体となって推進する国民運動計画

「すべての子どもが健やかに育つ社会」の実現

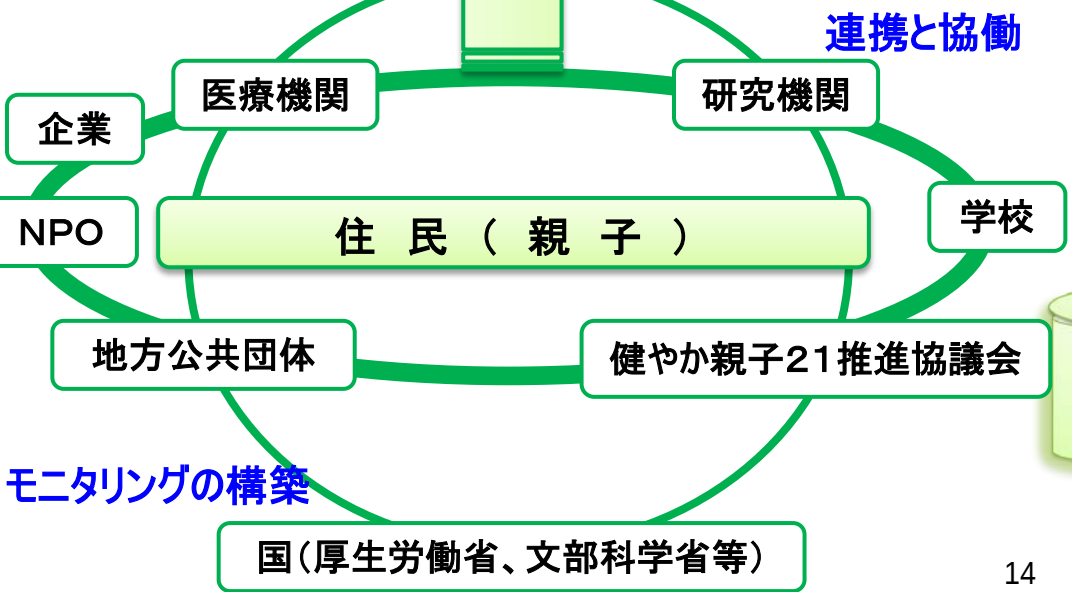
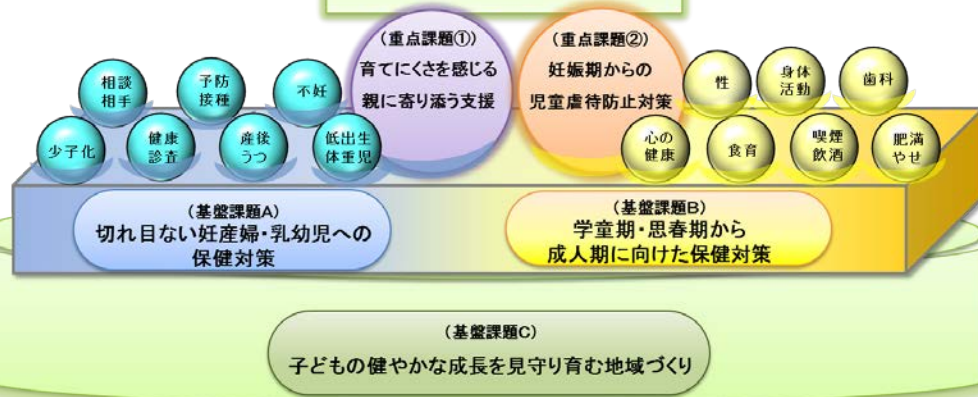


健やか親子21（第2次）



すべての子どもが健やかに育つ社会

子育て・健康支援



国民健康づくり運動「健康日本21」の推進

【平成30年度概算要求額 587百万円】
（平成29年度予算額 590百万円）

〈主要事業〉

□ 健康寿命の延伸を目指した「健康日本21」の推進

- 健康日本21（第二次）推進費 〈30年度概算要求額 149百万円（29年予算額148百万円）〉
- 健康日本21（第二次）分析評価事業 〈30年度概算要求額 28百万円（29年予算額27百万円）〉

□ 科学的根拠に基づく基準やガイドラインづくり

- 国民健康・栄養調査の実施に係る経費 〈30年度概算要求額138百万円（29年予算額195百万円）〉
- 食事摂取基準関連経費等〈30年度概算要求額19百万円（29年予算額20百万円）〉

□ 管理栄養士等の養成・育成、地域における栄養指導の充実

- 管理栄養士等の資質確保、向上 〈30年度概算要求額71百万円（29年予算額75百万円）〉
 - ・管理栄養士国家試験運営等に係る経費
 - ・管理栄養士・栄養士養成施設におけるモデル・コアカリキュラムの検討
 - ・管理栄養士専門分野別人材育成事業
- 糖尿病予防戦略事業 〈30年度概算要求額37百万円（29年予算額37百万円）〉

国民や企業への健康づくりに関する新たなアプローチ ＜スマート・ライフ・プロジェクト＞



- 背景：高齢化の進展及び疾病構造の変化を踏まえ、特定健診等により生活習慣病等を始めとした疾病を予防・早期に発見することで、国民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図り、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現することが重要である。
- 目標：「適度な運動」「適切な食生活」「禁煙・受動喫煙防止」「健診・検診の受診」をテーマに、健康づくりに取り組む企業・団体・自治体を支援する「スマート・ライフ・プロジェクト」を推進。個人や企業の「健康意識」及び「動機付け」の醸成・向上を図り、社会全体としての国民運動へ発展させる。

＜事業イメージ＞

厚生労働省



＜健康寿命をのばそう! アワード表彰式＞

- スマート・ライフ・プロジェクトへの参画の呼びかけ
- 社員・住民の健康づくりのためのリーフレットやポスターの提供
- 大臣表彰「健康寿命をのばそう! アワード」
- 「健康寿命をのばそう! サロン」による参画団体の交流と好事例の横展開
- 「いきいき健康大使」による、各種イベントでの健康づくりの呼びかけ



企業・団体 自治体

・メディア
・外食産業



・フィットネスクラブ
・食品会社

等



社員・住民の健康づくり、禁煙や受動喫煙防止の呼びかけ、検診・健診促進のためのポスター等による啓発
→ 社員・住民の健康意識の向上・促進

社内啓発や消費者への啓発活動に利用するロゴマークの使用（商品パッケージなど）
→ 企業等の社会貢献と広報効果

社会全体としての国民運動へ